

天主閣

だより

マキキ聖城キリスト教会



「心の輪郭を造る教会」

マキキ聖城キリスト教会牧師

具志堅 聖

親子会が始まって一ヶ月が過ぎました。毎回、奉仕者の方々が祈りつつ、準備をし、ボランティアの方々の方々の応援をいただきながら、会を営んできています。母親のクラスも、子供たちの遊びの時間も毎回変化があり、その成長の姿を見せています。親子会の祝福はかならず教会の祝福になることと信じて、皆で応援してまいりましょう。

さて、この親子会に来られる子供の層はおもに0才児から三才の間です。その頃というのは、児童教育の分野で言われる【心の輪郭形成期】にあたります。「人は二―三歳の頃から、次第に個性をもった【心の輪郭】を描き始める」と言われます。ある子供にとっては最初の反抗期ですが、これはまさに「個としての自分」への目覚めでもあるのです。

では、この【心の輪郭】と呼ばれるものは、いつ頃からもつとはつきりとした輪郭をもち、形を決めていくことになるのでしょうか。人間としての統合を確立するといわれる青年期、その入口に相当する【思春期】です。その頃に心が個性的な輪郭を描き終わるようになると言われます。

もちろん、思春期以降も人間の心は変わることがあります。ただ、思春期以降の人の心の変容には柔軟性が失われていきます。なぜですか？ それはそれまでに強固な「自我」が形成されているからです。友人の心理カウンセラーが言うのですが、「思春期の心は固まり始めたコンクリートのようなもので、無理に変えようとするとバラバラになる。固まる前のコンクリートの上を歩いた動物の足跡がきれいに残るように、その時期に起きた事件や心の傷などは、時に後の人格に影響を及ぼす。ただ、コンクリートとは異なって、人の心はその頃の動揺が長く続くと、いつまでたっても固まらずに、未熟なままで大人になることがある。時にそれがその人の決断力・思考力・人間力に影響を及ぼすです」と語っていました。依存性とか衝動性などもそこからできると言うのです。

更に現代の悩みというのは、その【心の輪郭】が描き終えてないまま、大学へ行ったり、就職をしたり、結婚したりするケースが増えているということです。そして、これまでになかった相談が寄せられると。「知識はたくさんあつて、その点は早熟なのだが心が弱い。氾濫する情報は頭に入っているけど、それを制御する機能がない状態が起きている」と言うのです。また、その人間の成熟の遅れの原因は、子供たちだけにあってはならず、その環境にも原因があるとも言われています。核家族が進み、複数の人間に囲まれるという場が少なくなってきたことや、道徳や倫理を肌で吸収するような場がなくなってきたからではないか、とも言われているのです。

その意味で家庭はもちろん大切な場です。ただそれだけでは人間社会の多面性には対応できません。家庭だけでなく、人格教育の場としての何かが必要なのです。教会がその場

となることが実は求められているのです。なぜ、教会が必要なのか？ そこで、みことばを聴くということが始まるからです。聖書を信頼して生きている他の大人の人と出会うからです。そこで、神さまの恵みに生かされ、神さまに助けられて生きる人の姿を見るからです。そこで、聖書が示す人間の尊厳というもの、人を尊ぶ人々の中に生きる恵みを肌で吸収できるからです。そしてそこで、神さまの教えの中で自立した人間となっていくことを知るようになるからです。

あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。わざわいの日が来ないうちに、また「何の喜びもない」と言う年月が近づく前に。 (伝道十二章一節)

教会共同体は、【心の輪郭】を人間が描く際に、実はとても大切な場であります。【心の輪郭】に何が刻まれるか、創造主なる神ご自身・聖書の教えが刻まれることが、「わざわいの日の前に」とても大切なことなのです。ぜひ教会に子供たちをお連れください。みことばの恵みが人を生かすことを知っていただきたいと思います。



ユースのためのフアンドレイズ

今年も年末から5泊6日で、マキキ教会のユースが「エクイッパ・コンフェレンス」に参加します。カリフォルニア州の教会で、キリストによつて遣わされる者として、エクイッパする（備える、整える…エペソ4:11）ことを目的としたキャンプに参加します。

この参加費用のためのフアンドレイズに、スパムむすびの販売をしております。また、ドネーションも受け付けています。(担当…岩崎良太、MAX)

のぞみの会便り



九月十二日の中秋の名月をご覧になりましたか。九月三十日ののぞみの会は和服姿の演奏家のみなさんによる一絃琴(一本の絃の琴)が、春夏秋冬を描写する演奏をお城の教会の礼拝堂で聴くことができました。その昔武士や文人に精神修養として演奏されていたということですが、一絃琴の音色は賛美の音色として教会でも調和しました。ハワイの秋も深まります。のぞみの会に集う八十歳、九十歳、百歳の参加者の皆さんの多くは長い人生をクリスチャンとして歩んだ信仰の先輩たちです。身体のどこかに痛みはありますが、穏やかな笑顔が皆さんの共通点です。家族や友を愛し、愛され、まっすぐに神様の約束を信じています。

のぞみの会はそのような先輩の旅立ちを見送るところでもあります。参加者のお一人、呉屋さん(九七歳)は他の教会の方ですが、最年長のみみさん(一〇二歳)と一緒に金曜日のマキキ教会ののぞみの会に来られていました。脚の痛みで眠れないと言いつつも、ふかしたサツマイモを持ってきてよく私たちを喜ばせてくれた方でもあります。その呉屋さんが九月最後の週に天国に旅立たれました。いつもやさしい笑顔でお母さんをマキキ教会に連れてきてくれた娘さんのジューンに感謝したいと思います。(天城久美子)

のぞみの会 毎週水・金 朝九時〜十二時

今月の証

「被災地での体験」

熊谷 星

私は今年の夏、仙台へ二週間ボランティア活動をしに行きました。日本へ行く目的は日本の方々の手伝いをする事と、神様の事をもっと学ぶためでした。気がついていたら、私が助けるべき人に、私が助けられていました。その人達は、私の目の前に起こっている事だけでなく、もっと多くの人々が苦痛に耐えていることなどにも気がつかせてくれました。日本に行って出会った人々はノン・クリスチャンやクリスチャンもいましたがみんなが一緒に交わりあっていると神様の存在を感じる事が出来ました。

日本に行っていた二週間は楽ではありませんでした。強制的に成長をさせられました。シャワー、食べるところ、そして洗濯をするところを毎日探さなければいけません。思っていたことに気づきました。毎日十キロを自転車で被災地に四十五分かけて通っていました。着いたらグループに分かれてそれぞれ担当の家をまかされました。家は持ち主の家族がまた帰って来て暮らせるように片付け、きれいにしました。そしてお墓掃除もしました。その時、いろいろな家族の写真やアルバムを見つけて、被災にあつた人たちが本当にすべてを失った事に気づき、その気持ちは想像できませんでした。でもそれと同時にその全てを失った人達が私を笑顔で迎えてくれて前に進む勇氣をくれた人達だと気づきました。日本の立ち直るはやさと力を見て感動しました。いつまでも心に残る事です。

人を手伝う機会とすばらしい経験を与えられた事に本当に感謝しています。津波が日本を襲って六ヶ月たちますが、まだまだ必要な物が多くあります。たくさんの人々が、まだ避難所に食べ物や家の家賃が払えなくて残っています。片付けが必要な人もまだいます。私が参加したようなボランティア活動もたくさんあります。

食べ物、お金、必要な物の寄付はものすごく助かる物です。でもそれ以上に大事な事は、日本のために祈ることだと思えます。みなさんも、日本のためにどうぞお祈りください。

ドクター小林のひとりごと・・・

詩篇二十三篇

主は私の羊飼い。私は、乏しいことがありません。主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。

テリーさんの簡単クッキング

「親子丼」

<材料> 1人分

鶏ささみ or 胸肉 50g、玉ねぎ 1/4、かまぼこ 3-4切れ、椎茸小 2枚、長ねぎ 1/2、卵 2コ、だし汁(椎茸のもどし汁をあわせて) 1/2

調味料：しょうゆ大さじ 2、みりん大さじ 2、酒大さじ 1

<作り方>

- ① 鶏肉は2センチ斜め切りし、酒小さじ 1/2 につける。*胸肉の場合は白い部分と筋を取り除いてから切る。
- ② 鶏肉をザルにおき熱湯をかけ、臭みとアクをとる。
- ③ 玉ねぎ、かまぼこ、椎茸は2-3ミリの線切り。
- ④ 長ねぎは長めの斜め切り。
- ⑤ 小なべにだし汁 1/2 と調味料を入れ、煮汁が煮立ったら、はじめに鶏肉を入れ、野菜③④を上に入れる。
- ⑥ 箸で下にある鶏肉をひっくり返す。*上の野菜をあまり崩さないように。
- ⑦ 卵は箸でほぐす。*白身が残るように。
- ⑧ 溶いた卵を鍋の淵から高さ 20センチから回しながら入れ、真中は最後になるように。
- ⑨ 卵の半熟が残っている程度で火から下し、井によそった熱々のご飯の上に汁ごと盛る。
- ⑩ 井にふたをして蒸す。

寝転がって物をたべる、皆さんはどう思いますか？私は最近、ある患者さんに寝転がって煎餅を食べる事を勧めた事があります。あまりにも心配事が多くて神経を張りつめすぎている方だったので具体的には、寝転がって韓国ドラマをみながら煎餅を食べなさい、そういう時間が大切ですよといったのですが、これは本当だと思えます。

毎日の生活していると、いろんな事が起きるものです。予想もしがたい難しい問題が起こったらどうしよう、と不安にもなります。考えてみれば、私たちの生活は明日をも知れぬ不安定なものです。でも、詩二十三篇ほど生き方の極意を教えてくれる聖句はありません。羊はのんびり草の上で寝転がって食べるのです。何を食べようという心配は羊飼いがしてくるので羊は心配しません。こわい事が起きても羊飼いな主がなんとかしてくれる、だから信じてリラックスするのです。

編集後記

授業のコミュニティサービスタとして、今マノアの植物園でボランティアをしています。ネイティブプラントの多くは外来種によつて絶滅の危機にあります。そこでは珍しいハワイの植物を目にする事ができます。日々の喧騒を離れて緑に囲まれるのもいつもばたばたしている私には必要な時間なのだと思います。

大塩 直子

最近ミニチャーチでお料理を習っています。テリーさんが教えてくれるので完璧な出来具合になります。今回の親子丼も料亭の味になり、家で作ったら旦那さまも大喜びでした。これで自信をもってお嫁にきた事になります。今年で十二年目・・・

松浦 由紀子

今月は、高知からスペシャル・ゲストの来布。坂本竜馬、勝海舟、ジョン万次郎の子孫たちと未来を担う高校生。シンポジウムがハワイでひらかれるとのこと。竜馬さんたちは百年後今のようになつていようと考えたのでしょうか？そして百年後世界はどうなつていのでしょうか？何よりも神様は私たちに何を期待しているのでしょうか？そんな事を考えてみる時になるといいですね。

玉寄 朋子



責任者 マキキ聖城キリスト教会 宣教部
編集者 松浦 由紀子・大塩直子
玉寄 朋子